

オピニオン

## 2005年世界選手権、日本開催に寄せる期待

国際オリエンテーリング連盟会長 スー・ハーヴェイ



過去数年間に、IOF加盟国数は大きな飛躍を遂げました。その反面、オリエンテーリングは依然ヨーロッパ中心のスポーツです。IOF加盟国の半数はヨーロッパであり、オリエンティアの大多数はヨーロッパに居住している。だから、2000年のIOFコンGRESSが、アジアの国である日本に世界選手権開催権を与えたことは非常に重要なことです。日本は、国際的な大会の運営について、これまでに十分な経験を積んできました。アジア最初の世界選手権が日本であるというのは、当然のなりゆきと言えるでしょう。

世界選手権は、長い間かかって大きく発展してきました。もともとは、男女の個人戦とリレーしかありませんでしたが、現在では3つの個人戦レースのある、2種目（トレイルとフット）の大会になっています。また予選も行われています。メディアや観客に何が提供されるようになったかも重要です。新しい参加者を得るために、また将来の資金を得るためにも、オリエンテー

リングというスポーツがどんなスポーツであるかを多くの人々に知ってもらうことが必要です。世界選手権は、私たちにとって最も高い位置づけの大会であり、また上記の意味でも、特に重要な役割を担っています。だから、世界選手権を開催することは、大きな任務を伴うことでもあります。

私たちは、この任務は次のようなものだと考えています。

- \* 世界のベストオリエンティアを決めることのできる高度で、公正なレース。
- \* ハイテク機器を駆使し、メディアにも分かりやすい
- \* 無駄な日のない、毎日が刺激に満ちた、メディアにとっても訪れる価値のあるWOCウィークの設定
- \* オリエンテーリングという競技の中で可能な、専門的能力を持った選手の存在を示せるような多様なイベント
- \* 観客にとっても分かりやすく、見に来たいと思わせるイベント
- \* 多くの国、とりわけアジア諸国が参加可能な予選システム
- \* オリエンテーリングが身体障害者にとっても可能なスポーツだと理解してもらえるようなトレイルOを含むこと

これは、過剰な期待に思えるかもしれませんが。しかし日本オリエンテーリング協会がこれら全てのことを提供できる資質を持っていると信じています。

Sue Harvey  
President  
International Orienteering Federation  
スー・ハーベイ  
国際オリエンテーリング連盟会長

### ワールドゲームズ秋田大会

28種目、世界のトップアスリートがやってくる。  
オリエンテーリングも、トップオリエンティア80人  
開催。もちろん、観客のためのイベントも。  
(詳細は今号のイチ押しイベントをご覧ください)

